

# 提 案 書

## シティセールス戦略

～魅力あるまち藤井寺市をめざして～



平成26年11月

藤井寺改革・創造チーム(B)

# 目次

●はじめに	2
●藤井寺市の現状	3
●現状からみえる課題と分析、政策提案、施策について	
1. 藤井寺市の情報発信力について	4
2. 子育てに係る公的サービスについて	8
3. 子育てに関する地域の役割について	14
●まとめ	22
●おわりに	23
●検討経過	24
●参考資料	25

## はじめに

長期の人口動態を見据えた国のあり方、国家戦略を検討することを目的とした日本創成会議における人口減少問題検討分科会では、若年女性人口減少率を元に消滅可能性都市を推計しており、本市は大阪府下で 66 市区町村中（大阪市は区単位、堺市は市単位）22 番目という比較的上位にあるものの、今後は更なる総人口の減少や生産年齢人口層の減少が進むとも推計されている。

そこで、今後確実に人口が減少することが予想されるなかで、本市がシティセールスを行うにあたって、自治体存続について今以上の危機感を持ち、積極的に人口減少を緩和するためのアプローチを実施していく必要があることから、藤井寺改革・創造チーム（B）では現状の魅力を発信することはもちろん、現状有していない魅力を創造し発信していくことに重点を置き検討を行った。

その結果、本市が現状では有していない魅力に関して、生産年齢人口層でもある子育て世代に着目し、同世代にとって魅力的な施策アプローチや魅力発信を行うとともに、本市の目指す将来像を『子育てしたくなるまち藤井寺』と設定し、近隣自治体からの人口流入や市民定着を図るための施策を提案するものである。具体的数値目標としては、前述した若年女性人口減少率を、大阪府内で 22 番目から 10 番目以内まで引き上げることを目指す。

## 藤井寺市の現状

本市は大阪府南東部に位置し、面積 8.89 km<sup>2</sup>・人口約 65,000 人と全国の市の中で 5 番目に小さな市であるが、山間へき地がなく、市内のどの地域からも駅まで徒歩で行くことが可能である。市内近鉄 3 駅に関しては、準急が止まり約 15 分で大阪市内へのアクセスができるという利便性は高く、大阪市等のベッドタウンとしての都市機能を有している。

平成 17 年 1 月に藤井寺駅南の藤井寺球場が無くなり、平成 25 年 2 月には藤井寺駅北のイオンモールも建て替え工事による閉店となった。そのため、現在の本市には人が集まりにぎわうようなまちのランドマークとなる施設がなくなっている。

現在の本市総人口は過去 30 年の推移をみても概ね横ばい傾向にあるが、国立社会保障・人口問題研究所の将来推移人口では本市の人口は 2040 年に約 56,000 人になると推計されている。〈参考 1〉さらに、生産年齢人口層については 2010 年を 100%とした場合、2040 年には 73.9%まで下がると推計されている。〈参考 2〉

本市に限らず少子化や高齢社会、人口の減少については全国的に抱えている問題である。また、核家族化の進行や夫婦共働き、祖父母自身も就労している等勤労形態の多様化といった社会的背景により、子育て世代を取り巻く環境が大きく変化している中で、子どもを育てることに係るニーズも多様化している。〈参考 3〉

藤井寺市子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査（以下、ニーズ調査）において、少子化の要因の一つとして考えられる『子育てにはお金がかかる』との経済的問題に関する意見や『子どもの急病時のサポート』『親や子が安心して遊べ、交流できる施設の整備』『子育ての悩みの相談や情報を提供して欲しい』等の意見が寄せられている。

また、核家族化については、親子以外の人間関係が希薄化しているともいわれる今日では、NPO や各種団体、地域に暮らす様々な世代の人が交流を持ち、地域ぐるみで次世代の育成に力を注ぎ助け合うことも期待されている。〈参考 4〉

# 現状からみえる課題と分析、政策提案、施策について

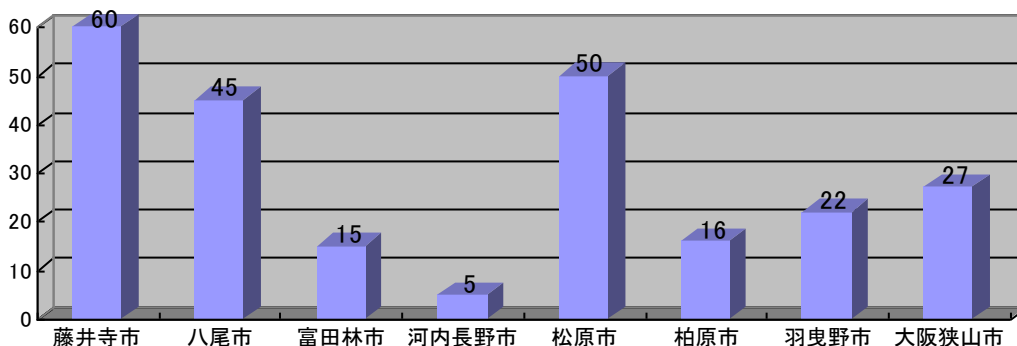
## 1. 藤井寺市の情報発信力について

### ＜現状からみえる課題と分析＞

前段「藤井寺市の現状」で述べたように、現在、本市にはランドマークやシンボルとなる施設がなく、また特産品や郷土料理、伝統文化などのソフト面においても広く認知されているものはない。

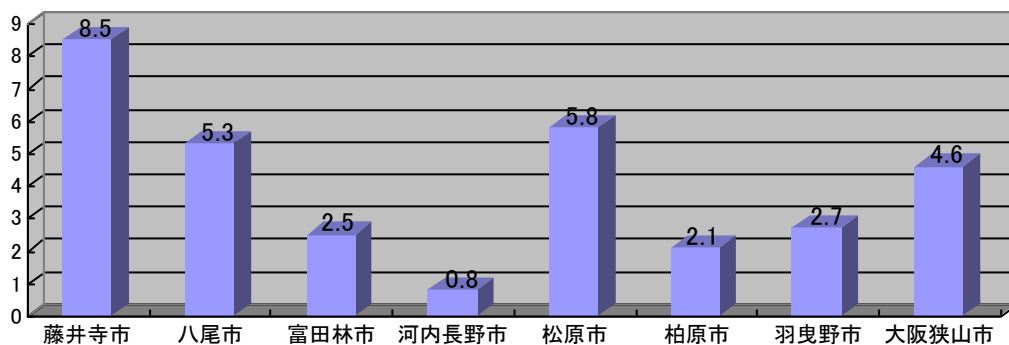
しかし、本市の魅力と成り得るものが全く無いというわけではない。世界文化遺産登録を目指している古市古墳群や神社仏閣といった歴史資産も多い。また、近隣市と比較したデータで本市の魅力の発見を図ると、市内に住んでいたり、通勤・通学していたりすると当たり前と感じていることが案外魅力と成り得るものである。たとえば、1 km<sup>2</sup>あたりの商業施設や病院・診療所の件数が多いというデータがある。〈図1・2〉件数のみでは一概に判断できないが、それだけ身近に商業施設や病院・診療所があるということは、「すぐに行ける」「選択できる」「何度も行ける」というメリットがあり、市内の交通の便と合わせて非常に利便性が高いという魅力がある。また、交通事故や工場排煙が少ないというデータもあり、近隣市を含めた広域で判断しなければならない点はあるが、住宅都市として環境面においても非常に住みやすいまちであるといえる。〈図3・4〉

市内外の人々に、本市に「住んでみたい」「住み続けたい」「訪れてみたい」と感じてもらうためにも、このような本市の魅力や後述する「2. 子育てに係る公的サービスについて」「3. 子育てに関する地域の役割について」において提案する新たな魅力を十分に発信する必要がある。



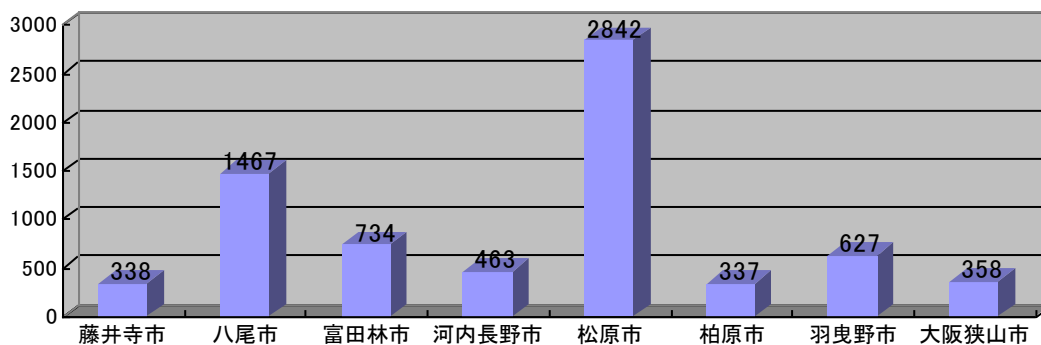
〈図1〉 1 km<sup>2</sup>あたりの近隣市別商業施設数

資料：「近畿都市統計要覧」（平成25年度）



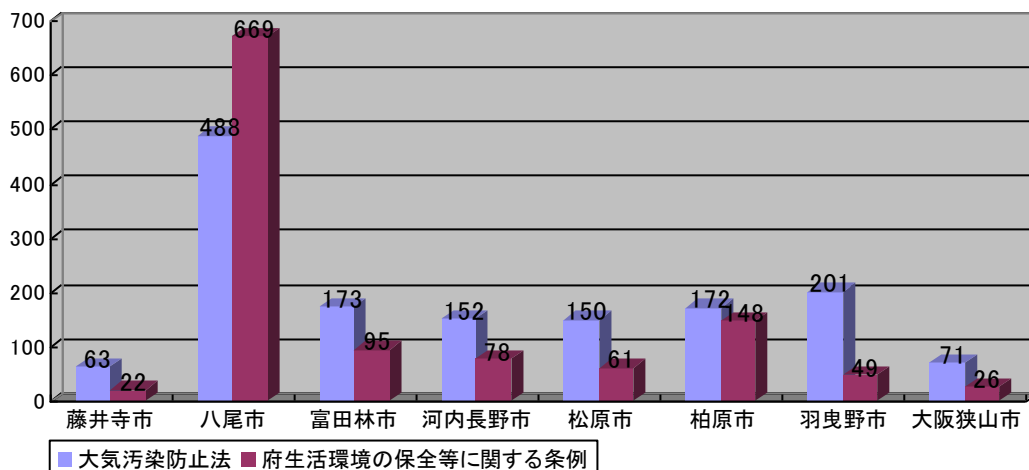
〈図2〉 1 km<sup>2</sup>あたりの近隣市別病院・診療所数

資料：「近畿都市統計要覧」（平成25年度）



〈図3〉 近隣市別交通事故発生件数

資料：「近畿都市統計要覧」（平成25年度）



〈図4〉 近隣市別ばい煙・粉じん等届出施設数及び設置工場・事業場数

資料：「大阪府統計年鑑」（平成25年度）



## <政策提案>

本市の魅力を発信する方法として、財政面において負担の少ない手段で、かつ、供給したいターゲットの需要に応じて最適な情報を最適なツールにより効率的に行う。

## <施策>

### (1) シティセールス用ホームページ、SNS (Twitter、Facebook) 等の専用 Web サイトの運用

現在、本市ではホームページを開設しており、各担当部署の行っている業務、実施している施策等を縦断的に掲載しているものの、本市の魅力を十分に発信しているとは言い難い。そこで、シティセールス用のホームページや SNS (Twitter、Facebook) 等の専用 Web サイトを開設することにより、より効果的に本市の魅力を発信する。

たとえば、富田林市では、シティセールス用のホームページ「とんかつ」を開設しており、子育て世代をターゲットにした魅力の発信を行い、同世代の定住を図る取り組みを行っている。

このように近隣自治体においても、シティセールスを目的とした専用 Web サイトが普及し始めているが、ターゲットを絞ることでインターネットの良さが半減するという懸念がある。よって、単純に閲覧数の増加を狙うだけではなく、口コミによる波及効果を鑑み、より幅広い世代に向けて情報発信する方がより効果が見込めるため、本市においては、世代を絞らずに各世代のニーズに合わせた横断的な情報をカテゴリー化した専用 Web サイトの運用を提案する。

### (2) 広域商業施設 (大型ショッピングセンター、複合商業施設) での広報

大型ショッピングセンター等の広域商業施設は市内外から幅広い世代の集客が見込めるため、絶好のアピールスポットである。本市においても、そのような広域商業施設が建設される際には、施設内にアピールブースを設置する等の方法で本市の魅力を広報するべきである。

たとえば、松原市では河内松原駅と隣接しているショッピングセンター「ユメニティ松原」内にて、広報紙やイベントチラシの設置、特設モニターの映像により市の魅力をアピールしている。

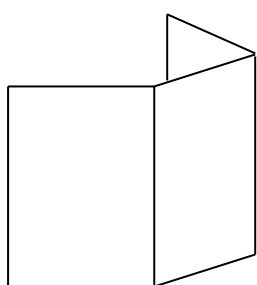
このような近隣自治体の事例を参考にしつつ、本市においては、更なるアピール方法として、チラシ設置等の受け身の広報だけでなく、施設と連携した参加型イベント等を開催し、顧客を巻き込んだ積極的な情報発信方法を提案する。

### (3) 市内外の不動産業者への働きかけ

市内外の不動産業者の顧客をターゲットとし、顧客が比較対象とするであろう近隣自治体との間に差別化を図る。

具体的には、「藤井寺市暮らしのガイドブック」等の既存アイテムの設置、及び、頒布を市内外の不動産業者に依頼するという方法である。また、既存のアイテムだけでなく、不動産業者の顧客に対するピンポイントの情報を掲載したパンフレット等を新たに作成し、設置を依頼するという方法も効果的であると思われる。パンフレットの例としては、住環境に焦点を当てた本市の魅力の紹介や、一人暮らしや新婚家庭、子育て家庭等の顧客に合わせた公的サービスを紹介するといった内容であれば、顧客が求める情報とマッチングするのではないだろうか。

#### ◇パンフレット例（観音開きタイプ）



P1…表紙

P2…住環境に焦点を当てた本市の魅力の紹介

P3… //

P4…ターゲットに合わせた公的サービスの紹介

P5… //

P6…裏表紙

### (4) 市内の教育、保育、医療、介護施設での広報

市内の教育、保育、医療、介護施設において、利用層に合わせた情報をピンポイントで発信することによって、効率的に「伝えたい相手」に「伝えたい情報」を提供する。

小中高等学校、大学、短期大学、幼稚園等の教育施設においては、各世代に合わせた「郷土愛」を育む教育を継続するとともに、生徒が将来的に自身の子どもにも本市で教育を受けさせたいと思ってもらえるような本市の教育における魅力を発信する。

保育所（園）や民間の保育施設においては、保護者をターゲットとして既存の「子育てマップ藤井寺」を常時設置する等、子育てに関する公的サービスの情報を提供する。

医療、介護施設においては、医療、保健、介護に関する公的サービスの情報はもちろん、連載コラム等を掲載した自由に閲覧ができ、持ち帰りができるような冊子を待合室等にて常時設置する。医療、保健、介護に関する知識を提供することで、安心して暮らし続けられるというイメージを持ってもらい市民の定住化を図る。



## 2. 子育てに係る公的サービスについて

### <現状からみえる課題と分析>

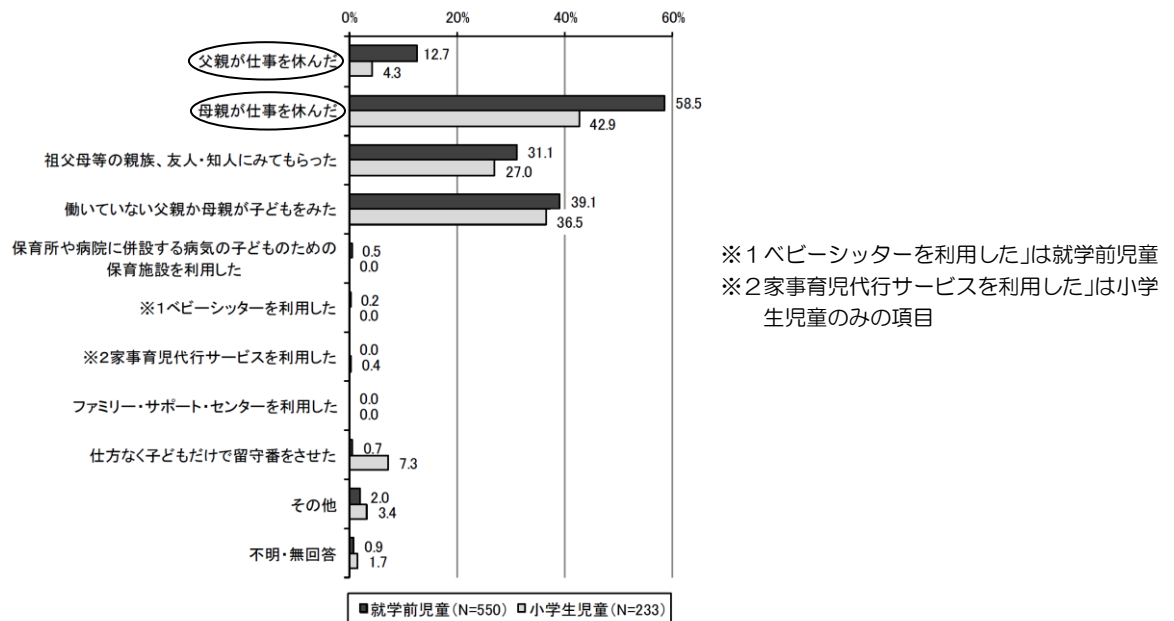
#### (1) 仕事と子育てを両立するためのサポート体制の拡充

夫婦共働き世帯が増加しているなか、ニーズ調査では、子どもが病気やけがで幼稚園や保育所などを利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）経験の割合が就学前児童で 79.8%、小学生児童で 62.0%にのぼっており、利用できなかった際の対処方法については、父母のどちらかが仕事を休んで対応したとの回答が最も高くなっている。〈図5〉〈参考5〉

突発的に子どもが病気やけがをした場合、就労形態に関わらず急きょ仕事を休むことは困難であり、仮に仕事を休むことができたとしても、パートタイム・アルバイトなど有給休暇が取れない場合や自営業の場合、仕事を休んで子どもの看病をすればその間は無収入となってしまう。

近隣に頼れる祖父母等の親族や、友人・知人がいない保護者にとっては、緊急時に子どもを預ける場所がないということは仕事と子育ての両立に支障をきたすだけでなく、経済的な負担にも直結する切実な問題である。

近年の核家族化の進行や夫婦共働き世帯の増加、地域のつながりの希薄化など、あらゆる社会的背景を勘案すれば、働く親にとって子どもの緊急時のサポート体制は必要不可欠である。



〈図5〉 子どもの病気やけがにより普段利用している幼稚園や保育所などを利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）場合の対処方法

資料：「子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査」（平成25年度）

## (2) 病児・病後児保育を実施していない府内市町村

ニーズ調査での「子育て・教育をするうえで、周囲からあればよいと思うサポート(自由回答)」という質問に対して、緊急時の病児・病後児の預かりに関する回答が突出しており、病児・病後児保育のニーズが非常に高いことがうかがえる。〈表1〉

しかし、現在本市では、延長保育(7か所)、一時保育(3か所)は実施しているものの、病児・病後児保育については実施しておらず、府内市町村の実施状況を見ても、平成26年5月現在、本市も含めて病児保育あるいは病後児保育を実施していない自治体はわずか12市町村だけである。〈表2〉

その中で本市と同程度の人口規模である高石市、交野市が実施した子ども・子育て支援新制度に関するニーズ調査においてもやはり、病気やけがで幼稚園や保育所などを利用できなかった場合に、子どもをみてくれる保育施設を利用したいとの回答が約半数を占めており、本市に限らず子育て世代の病児・病後児保育の実施を望む声は大きいといえる。〈参考6・7〉

〈表1〉 緊急時、病児・病後児の預かりについて

内容	件数
子供の突発的な病気の時の休みをどうしても職場で取れなかった時に、看病しながら診てくれるような支援があればよいと思う(有料でもいいので)。病児・病後保育(学童も)がほしい。病児・病後保育は、働く上で不可欠	30
緊急のときに、24時間・時間帯関係なく(特に早朝や夜遅くまで)、気軽に預けられる所があればよいと思う。河内長野市は一時預かりのサポートが充実しているので、藤井寺市もそういうサポートをしてほしい	14
自分が体調を崩してしまった時、(祖父母には預けるのが困難などで)子どもをちょっと預かってもらったり見ておいて貰えると助かる	8
伝染病や台風などで保育園、学校に行けない時に、預かってくれる施設がほしい	1
仕事をする母親にとっては、子供が病気のと時のサポート体制があると助かる	1
核家族のため(しかも夫婦共働き、夜勤あり(父)、帰宅母は23時が平日)、緊急や病気時、病後時、その時々への対応にかなり無理があるのでサポートのシステムがほしい	1

資料：「子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査」(平成25年度)

〈表2〉 病児・病後児保育のいずれも実施していない府内市町村

自治体名	人口	世帯数
藤井寺市	65,843	25,947
千早赤坂村	6,767	2,260
太子町	14,497	4,918
岬町	19,148	7,592
田尻町	7,290	2,842
熊取町	43,724	15,206
忠岡町	17,556	6,804
高石市	61,206	23,775
交野市	78,043	28,403
島本町	29,362	11,372
能勢町	13,643	4,513
豊能町	25,259	8,676
(2014年5月現在)	(2014年4月1日現在)	

資料：「一般社団法人全国病児保育協議会加盟施設一覧」

### (3) 子育て世代をターゲットにするにあたって

シティセールスの観点からいえば、近隣市（八尾市、富田林市、河内長野市、松原市、柏原市、羽曳野市、大阪狭山市）の中で本市だけが病児保育、あるいは病後児保育を実施していないという状況は、本市を居住地の候補として考えている新婚夫婦・新婚予備軍、ファミリー層などに「藤井寺市は他市と比べて仕事と子育てを両立するための支援が少ないまち」であるとのマイナスイメージを持たれ、敬遠されてしまうおそれがある。

〈表3〉

〈表3〉 近隣市の病児・病後児保育実施状況

自治体名	実施内容	実施施設	施設形態	保育時間	利用可能日	対象	利用料金	定員
八尾市	病児・病後児	八尾徳洲会総合病院	医療機関併設型	8:00～18:00	月～金(祝日除く)	市内在住 3ヶ月～9歳まで	3歳以上 1日2,000円(給食費等含む) 3歳未満 1日3,000円(給食費等含む)	9名程度
	病児・病後児	(社福)厚生博愛会 マリア保育園	保育園併設型	8:00～18:00	月～金(祝日除く)	市内在住の乳幼児	3歳以上 1日2,000円(給食費等含む) 3歳未満 1日3,000円(給食費等含む)	2名程度
富田林市	病後児	(社福)光久福祉会 梅の里保育園	保育園併設型	8:00～18:00	月～土(祝日除く)	市内在住の 保育所入所児童	1日2,600円 給食費等400円	4名まで
河内長野市	病後児	(社福)光久福祉会 ちびっこケアルーム	医療機関併設型	7:30～18:30	月～土(祝日除く)	市内在住の 保育所入所児童等	1日1,500円 給食費400円	2名まで
松原市	病後児	阪南中央病院	医療機関併設型	8:00～18:00	月～金(祝日除く)	保育所入所児童	-	-
柏原市	病児・病後児	にしむら小児科	医療機関併設型	8:30～17:30 (延長可能)	-	市内在住 6ヶ月～低学年	1日2,000円 給食費400円 延長利用料金 1時間500円	6名
羽曳野市	病後児	あいあい保育園 (NPO法人サポート ネットワークぬくもり)	保育園併設型	・通常保育 8:00～18:00 (延長可能) ・当日保育 9:00～17:30 (延長不可) ・土曜日保育 8:00～17:00 (当日利用及び延長不可)	月～土	0歳～学童(土曜日は 保育園通園児童のみ)	1日1,000円 給食費400円 延長利用負担金 30分300円	-
藤井寺市	未実施	-	-	-	-	-	-	-
大阪狭山市	病後児	大野台保育園	保育園併設型	8:00～18:00	月～土(祝日除く)	市内在住 就学前児童	3歳以上 1日2,000円 3歳未満 1日3,000円	3名

※いずれも生活保護世帯・市民税非課税世帯の場合は利用料の減免制度あり

資料：「一般社団法人全国病児保育協議会加盟施設一覧」

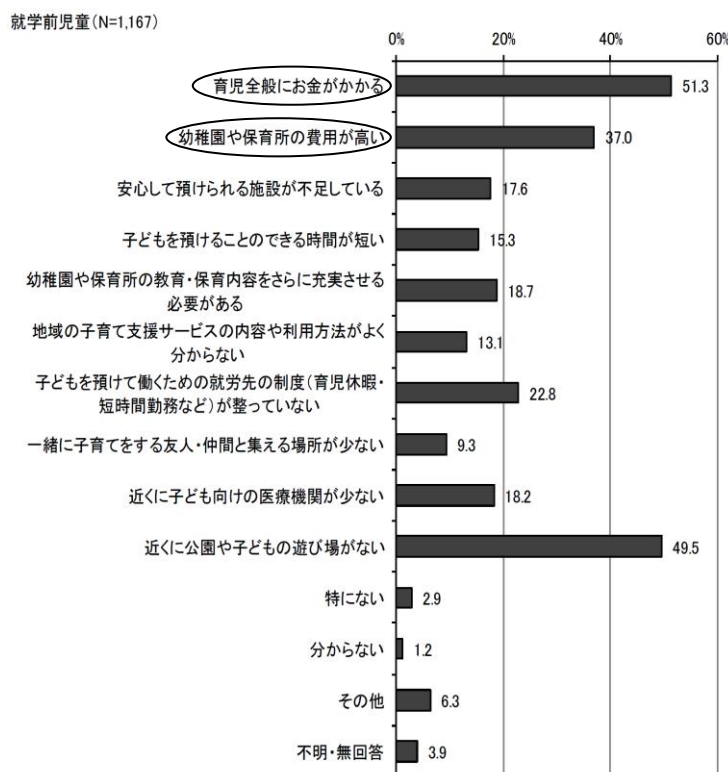
### (4) 子育てにかかる費用は未来への投資

ニーズ調査では、子育てにおける問題点や課題に対して「育児全般にお金がかかる」、「幼稚園や保育所の費用が高い」という回答が高い値である。〈図6〉また、他市のニーズ調査や内閣府の調査でも経済的な支援措置を望む回答が多くあり、子育てにはお金がかかるという経済的な問題は顕在化している。〈参考8・9〉

社会情勢や景気の影響等も考えられるが、子どもを出産し育てるには経済的な問題は避けては通れないものであり、子どもを持ちたい人が希望する子の数を安心して産み育てられる社会にしていくための経済的な支援を進めることが必要と考えられる。

現在、様々な経済的な負担に対しての軽減施策（不妊治療の費用助成、乳幼児期の予防接種や医療費助成、児童手当や多子世帯に対する保育料の減免、高校生の授業料免除や小中学生の就学援助等）があり、国や都道府県単位での実施もあるが、子育てに係る

費用負担軽減は未来への投資と考え、市の裁量で実施できる施策を実施し、近隣自治体との差別化を図り子育てに力を入れている魅力的な選ばれる市となる必要がある。



〈図6〉子育てにおける問題点や課題

資料：「子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査」(平成25年度)



〈政策提案〉

子育て世代が働きながらでも子育てしやすいように、既存の施設や施策を活かしつつ、より効果的な公的サービスを展開していく。

## ＜施策＞

### （１）病児・病後児保育の実施

本市在住の子育て世代が持つ、多様な保育に対する要望に添えるとともに、市外在住の子育て世代や新婚夫婦等に対して「藤井寺市は働きながら子育てができるまち」というイメージを構築し、近隣自治体と子育て支援制度を比較した際の本市のマイナス要素を減らすためにも、現状、本市では実施していない病児・病後児保育を実施する。

実施にあたっては、市民病院での直営、もしくは小児科を設置している民間の病院や診療所等への委託を検討する。病児・病後児保育の実施に対する要望がある一方で、「病気の子どもを他人に預けるのは不安である」との声も少なからずあることから、病院であれば医師や看護師が常駐しており、急な病状の悪化等にもすぐに対応できるため、保護者の不安感を払拭することができると思う。

周知方法については、広報紙やホームページへの掲載はもちろんのこと、市内の幼稚園や保育所、小児科医院等子どもの集まる場所にパンフレット等を設置することで、「急病時でも子どもを預かってもらえる場所がある」との安心感を保護者に持ってもらうようにする。また、前述した専用 Web サイトや SNS では、病児・病後児保育に関する情報を提供するとともに、本市が子育て支援に力を入れていることを PR していく。

### （２）第3子以降の子どもに係る保育料減免要件の拡大

子育て世代の経済的負担を軽減し、安心して子育てできる環境づくりを推進するため、第3子以降の保育料の支援を実施する。現行では第1子から第3子までが同時に対象施設に通所通園していなければ減免対象とならないが、第1子の年齢要件を18歳の誕生日以降最初の3月31日までの間に養育していることを年齢面での要件とする。〈表4〉

第1子や第2子が就学児童の場合でも、第3子が対象施設に通所通園している場合には保育料の減免を行うことにより、子育て世代の経済的負担を軽減するとともに少子化の抑制を図る。〈参考 10・11・12〉 また、子どもを産み育てることが就労をすることの阻害要因とならないように施策面で支援を行うことにより、就労の機会を増やし、課税所得の増加や地域の経済効果も期待できる。

〈表4〉本市保育料減免状況

内容	件数
ア 保育所、幼稚園、認定こども園、特別支援学校幼稚部、情緒障害児短期治療施設通所部に入所又は児童発達支援及び医療型児童発達支援を利用している就学前児童のうち、年長者（該当する児童が2人以上の場合は、そのうち1人とする。）	徴収額表に定める額
イ 保育所、幼稚園、認定こども園、特別支援学校幼稚部、情緒障害児短期治療施設通所部に入所又は児童発達支援及び医療型児童発達支援を利用しているア以外の就学前児童のうち、年長者（該当する児童が2人以上の場合は、そのうち1人とする。）	徴収額表に定める額 × 0.5
ウ 保育所、幼稚園、認定こども園、特別支援学校幼稚部、情緒障害児短期治療施設通所部に入所又は児童発達支援及び医療型児童発達支援を利用している上記以外の就学前児童	<b>無料</b> 左記に記載のある施設に、3人以上の児童が通っているうち、第3子にあたる児童が保育所に入所している児童が対象となります。したがって、兄弟がすでに学生等である場合は、この対象にはあてはまりません。

資料：「平成26年度保育料徴収基準額表」

#### ■ 提案内容と類似した施策を実施している自治体

- ・群馬県みどり市（人口52,000人20,000世帯）平成26年4月より実施

市税と保育園保育料に滞納がない方で、同一世帯の18歳の誕生日以降最初の3月31日までの間にある子を3人以上扶養していて、第3子以降の児童が認可保育園に入所している場合、年齢が高い順に3人目以降の認可保育園保育料が無料
- ・北海道知多市（人口86,000人34,000世帯）

18歳未満の児童を現に3人以上養育している世帯で3人目以降の児童が、保育園に入園していること

入園している児童が3歳未満児（0歳児～2歳児）で入園していること

世帯の所得税額等が次のうちどちらかに該当すること

  - 1.世帯の所得税額が非課税又は40,000円未満
  - 2.世帯の所得税額が40,000円以上413,000円未満であって、かつ、保育園に入園している児童の中での年長順が1人目
- ・香川県東松山市（人口89,000人37,000世帯）平成24年4月より実施

18歳未満の児童が3人以上いる世帯のうち、当該世帯の3人目以降で、かつ、3歳未満の児童の保育園保育料を無料

### 3. 子育てに関する地域の役割について

#### <現状からみえる課題と分析>

##### (1) 子どもの遊び場の不足

本市は市域が狭く、活用できる山林や空き地等は少ない。また市内には約 100 か所の児童遊園やポケットパーク、緑地があるが、他市にあるようなアスレチック遊具を整備した比較的規模の大きな公園はない。〈参考 13〉また、保育所などで実施している地域子育て拠点事業はあるものの、常時屋内で遊べる児童館や、就学前児童等がいつでも活動できるような地域子育て支援拠点は少ない。

ニーズ調査でも子どもの遊び場についての要望は多く、雨天時はもちろん、夏の暑い日や冬の寒い時にも天候や熱中症などを気にせず遊べる屋内型の施設や、兄弟がいる子どもたちの場合は異年齢の子どもと一緒に遊べるような環境、市内で気軽に子ども同士、または親と子どもと一緒に遊びに行けるような公園の整備を行うことは、子育ての助けになると同時に、地域の交流を生み、まちのにぎわい向上に繋がると考えられる。

<表 5> 子どもの遊び場についての要望

内容	件数
子供が外で遊べる、大勢いても、小さい子どもがいつでも安心して遊べる安全な公園・広場をもっと提供・作ってほしい	10
子供達が、いっぱい楽しく遊べる無料の遊び場（公園、つどいの広場、園庭開放）の充実（ボール遊び、花火など）→安心して子供と遊べる場所（キレイで安全な所）は多く必要です	6
東大阪市のドリーム 21、松原市の道夢館、柏原のような、未就学児が雨の日などに集まることの出来る屋内（体育館くらいの大きさ）の遊ぶ場所が欲しい。	5
小さな子供が利用できる公園や、雨の日などでも天候関係なく、日中いつでも遊べる安全な室内での公園などがあればいいなと思う	5
児童館の充実（急な用事等でも安心して預かってもらえる。幼児・赤ちゃんだけではなく、幼稚園児や小学生も集まれる。子供が安全に過ごせる場所）	5
公園の遊具や設備を充実させてほしいです	2

資料：「子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査」（平成 25 年度）

#### ■近隣市参考施設

（公園）※市営・府営を含む

羽曳野市：峰塚公園・石川河川公園      柏原市：玉手山公園

富田林市：錦織公園      大阪狭山市：市民ふれあいの里

（子育て支援拠点等）

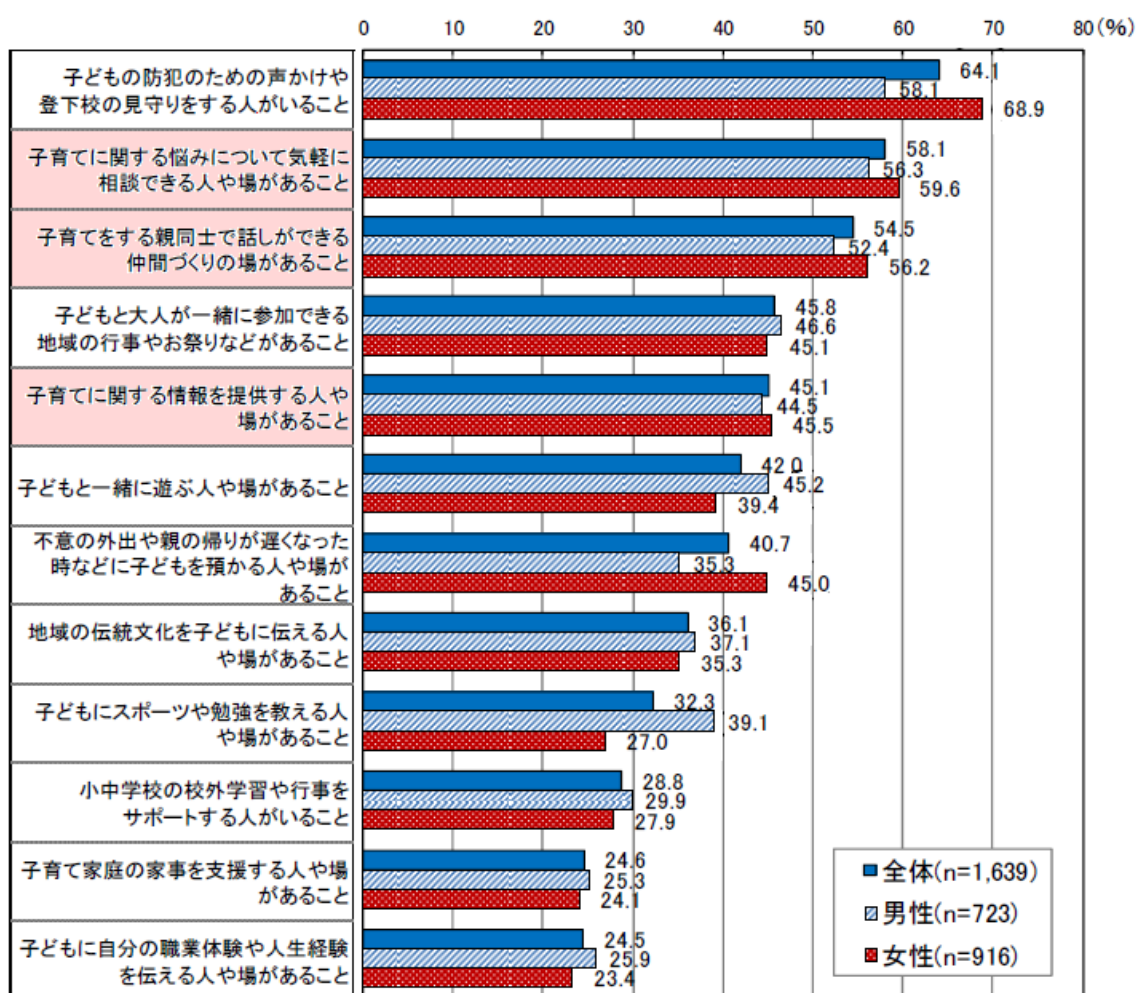
羽曳野市：古市複合館      柏原市：スキップ KIDS

河内長野市：あいっく      松原市：道夢館

## (2) 保護者の情報交換・交流ができる拠点の需要

かつては、地域に暮らす様々な世代の人が交流を持ち、親だけが子育てを担うのではなく、地域ぐるみで子どもを見守り、次世代の育成を行ってきた。しかし、核家族化、少子化・高齢化など環境が変化する中、親子以外の人間関係が希薄化しているともいわれている。

子育てには不安がつきものであるが、経験者から知恵を得たり、最新の情報を得られたりすることが安心につながる。また、同じような年齢の子どもを持つ保護者同士が、子育ての悩みを打ち明けたり、時間・空間を共有して交流を持ったりすることが気分転換にもなり、子育てにもよい影響を与える。親子が社会との繋がりを持てる機会を創出することで、子育てする親を孤立させず、児童虐待防止効果も期待できる。



〈図7〉 地域で子育てを支えるために重要なこと

資料：内閣府「家族と地域における子育てに関する意識調査」（平成26年3月）



〈表 6〉 相談支援についての要望

内容	件数
気軽に話を聞いてもらえる人・場所があると安心	7
気軽に相談できる電話窓口（緊急時でも対応してもらえる）	3
定期的に子育て相談会・教育相談会等大きくなくて良いので、イベント的な感じがあれば、普段相談できない人が相談しやすい場所を増やしてほしい（2～3ヶ月に1回程度）	3
毎日子供達やその親達が気軽に集まれる所が開放され、相談できる人が定期的に来てくれると相談しやすい	1
困った時に、気軽に相談できる場。今もあるが、活用する事はほとんどないのでもっとオープンなもの（気軽だが信頼できる人・場の存在）	1

資料：「子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査」（平成 25 年度）

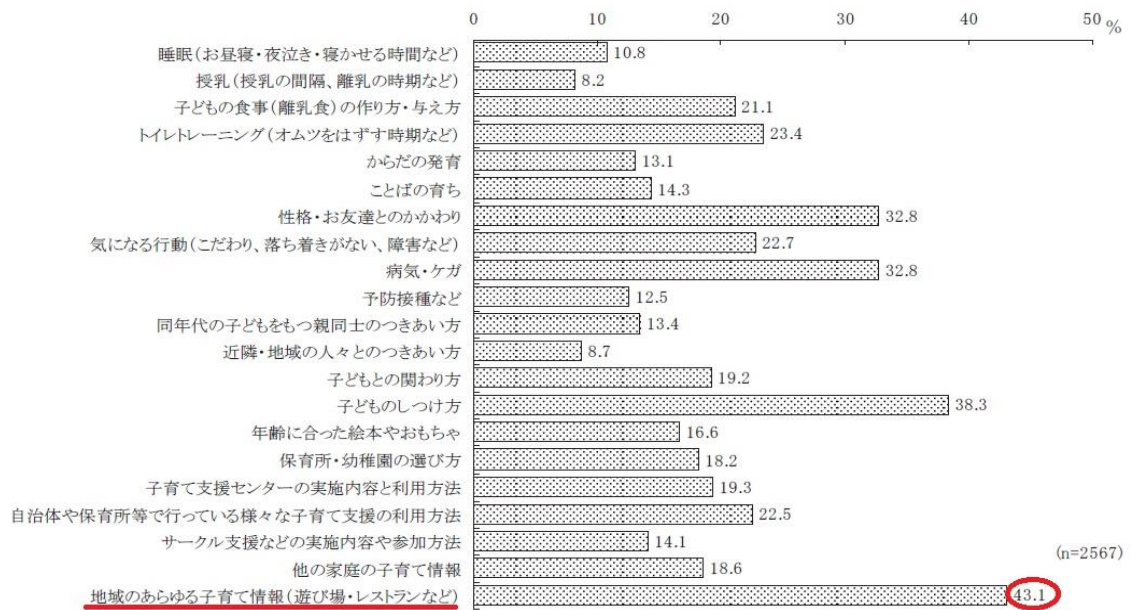
そのため、保護者が情報を得られたり、親子で交流できたりする場が必要と考える。いつでも気軽に参加でき、親や子どもが、同世代の人と情報交換や交流ができるような拠点があれば、子育て世代にとっての魅力となり得るのではないだろうか。

### （3）地域における子育て情報への需要

コンパクトな市域の多くが住宅地で、市民同士の距離が近い本市では、伝統的に多くの市民がボランティアとして、地域の子育て支援事業に関わってきた。現在も多くの子育て支援事業が市や関連団体によって展開されており、その運営には多くの市民が様々な形で関わっている。〈参考 14〉

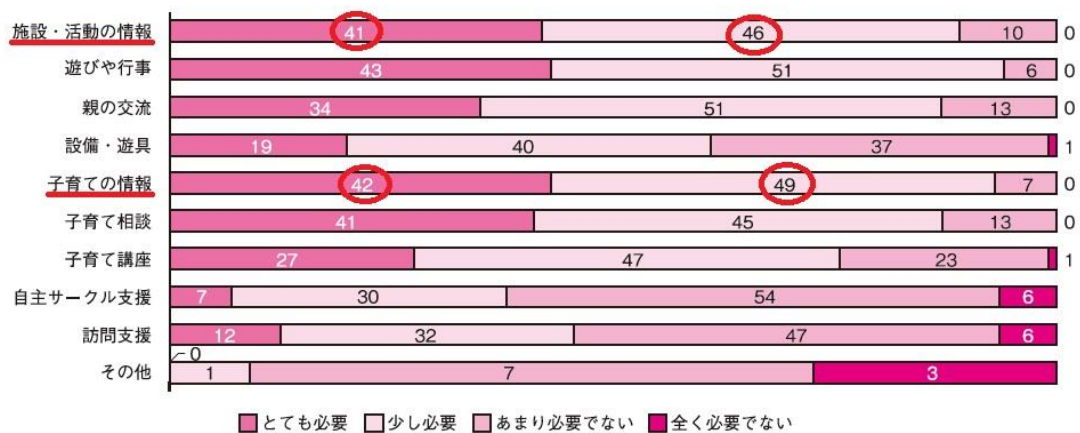
しかし、子育て支援の取り組みそのものは別にして、ニーズ調査では子育て支援事業の情報発信・周知方法に対する要求が複数挙がっており、全国的に見ても地域の子育てに関する情報へのニーズは高い。〈表 7〉〈図 8・9〉

子育て支援情報の周知に関しては、すでに「子育てマップ藤井寺」がある。これは、子育て支援課が各部課の事業を横断的に取りまとめて冊子体の情報誌を作成した関連施設や窓口で配布するものである。市のホームページ上でも同様のものを公開しており、子育て世代にとっては非常に有用な情報源となっている。ただし、内容は通年事業や施設の案内が主で、年一回という発行頻度を考慮すると、頻繁に新しい情報をアナウンスすることが難しいという課題が挙げられる。



〈図8〉 子育てについてほしい情報

資料：全国社会福祉協議会「保育所と地域が協働した子育て支援活動研究事業調査研究報告書」（平成19年度）



〈図9〉 子育て支援センターに求めるもの

資料：日本保育協会「みんなでつながる子育て支援―地域における子育て支援に関する調査研究報告書―」（平成22年度）

#### （4）地域子育てに関する情報発信のあり方

情報発信のツールは、広報紙とホームページになるが、これらについてもいくつかの課題が残る。現状、広報紙には子育て分野専用コーナーがあるが、市政に関する情報を広く発信するという広報紙の目的から、子育て分野に割ける紙面にも限りがあり、掲載

できる記事数・内容ともに限定的である。また、各事業の管轄が多く部の課にまたがるため、子育て分野の情報が複数のページに飛び地的に掲載されており、見落としや分かりにくさの原因となっている。ホームページに関しては、市のホームページ内に「子育て」のページが存在するが、情報量の少なさやデザイン等に課題が残る。カラーや画像等、インターネットの優位性を活かした情報の発信が求められる。近隣自治体の中でもインターネットの活用には苦戦しているところが多く、ここで魅力的なアピールに成功すれば、近隣自治体との差別化ができるのではないだろうか。

また、子育て世代にとっては、「自分や自分の子どもが参加できるサービスはあるのか」という情報が重要であり、各家庭の事情に即したパーソナルな情報への需要が高まっていると考えられる。〈表 7〉そのため、すでに実践されている各種事業の情報発信方法を、利用者目線に立って今一度再検討するべきである。利用者にとって魅力的な情報は、市のイメージアップにもつながり、シティセールスにおけるアピールポイントにもなり得る。

〈表 7〉 情報提供についてアンケート結果（自由回答）

内容	件数
広報の子育てページがもっと増えてほしい、 <u>子育て専用の情報誌（藤井寺市）の配布、フリーペーパーの配布</u>	3
どのようなサポートがあるか選択肢すらわからない。知らないことが多いような気がする	1
産後はなぜか頭の回転が悪くなったというか、子の事意外の情報に疎くなってしまったので、 <u>どのようなサポートがあるか定期的なアナウンスがあると気付ける</u>	1
身近な施設で行っている子育て支援（赤ちゃん会など）の詳しい情報の発信。（広報、掲示板 etc）定期的に健診を行っているが、1歳頃までに簡単な健診&相談ができるような定期的な集まりの場があればいい	1
地域の子育てに関する情報を <u>わかりやすく詳しく提供してほしい</u> 。緊急時のマニュアルやあそび場イベント etc	1
広報の郵送や子育てに関する地域の情報等のメール配信	1
<u>子供の年齢によって情報をメール配信して下さるなど</u>	1
幼稚園や町会などからの情報公開	1
教育の情報など	1
私は子育ての本を読んだりしたので、今までイライラしてしまった子供の言動や思い通りにならない事などが理解でき、肩の力が抜け子育てに余裕もできたが、“子どもとはどんなものか”という情報を早いうちから入れてもらえると、虐待やネグレクトが減ると思う。そういう情報伝達の会や広報があれば良いかなと思う	1
支援制度をしっかりと把握したうえで必要な人に積極的に教えてほしい（市役所の人や保健師さん）	1
父子家庭なので <u>必要な事を通知して頂けたら良いです</u>	1
学校以外で放課後、児童を受け入れている施設を広報 etc. で広く知らせて欲しい	1
公報などで、説明会の紹介。集いなどをして欲しい	1
情報交換の出来る場所、機会があれば嬉しい。引っ越してきて土地勘がないため、 <u>定期的に地域の情報がほしい</u> （必要な方のみ）。子育てマップなどがあれば助かる	1

資料：「子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査」（平成 25 年度）

## (5) 官学連携事業とイメージ戦略

「地域子育て」に関連する本市ならではの取り組みとして、市内に立地する大阪女子短期大学との連携事業が挙げられる。学内に設置されている「地域子育て支援研究所」は本市の地域子育て支援拠点事業の委託先であり、実践を踏まえて地域における子育て支援の研究が官学連携により行われている。このことを広く周知し、地域をあげた子育て支援を行うという風土や、地域で子どもを見守るまちというイメージを発信する。



### <政策提案>

地域における統括的な子育て支援ネットワークを構築する。そのためには、地域の中に子どもの活動の場、保護者の情報交換・交流の場、地域の支援者の活躍の場を設ける。

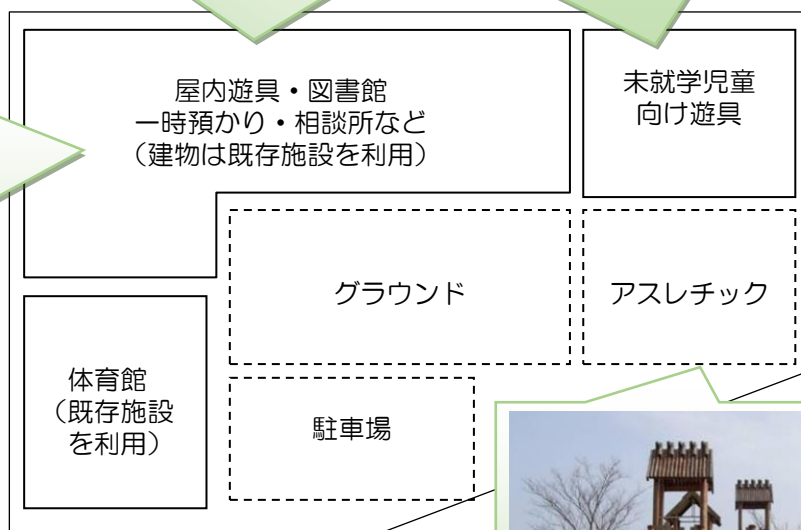
また、それら種々の取り組みやその情報を集約し、一括して提供できる機関を設置する。単に情報を発信するのではなく、必要な人に必要な情報が届くように情報提供の仕方を工夫する。

### <施策>

#### (1) 総合子育て支援センターの創設

ふじみ緑地や学校統合が行われた後の藤井寺西小学校跡地などに、総合子育て支援センターを創設し、未就学児や親の相談支援や情報の提供及び地域住民と親子の交流の場所として開放する。就学児も利用できるスペースを設け、地域の子どもたちが放課後または休日に集まり、いきいきと遊べるようなアスレチック遊具を整備し開放する。

施設案（藤井寺西小学校の場合）



実施については、ノウハウを有した第三者の民間事業者に業務委託をすることを検討する。また、市内の関連団体とも連携を図り地域の子育て支援体制の強化を進めたい。

母子健康手帳交付時や出生届時、こんにちは赤ちゃん事業実施時に総合子育て支援センターの案内を行い、相談や交流が行えることを周知する。また、後述する広報紙の折込紙面や専用 Web サイト等の媒体を利用して周知を行う。総合支援センターを創設することにより、いつでも子どもに関する相談や支援、各種情報取得等が当該センターにてワンストップで行えるようにする。乳幼児を連れて行くことや妊婦の長距離移動は困難なため、総合子育て支援センター創設の際は公共施設循環バスの経路にする。



## まとめ

本市はもちろん、日本全体の人口が減少していくなかで、先般、政府が掲げた人口減少の抑制に向けた『長期ビジョン骨子案』の中で、合計特殊出生率を2013年の1.43から1.8程度に引き上げるという目標を掲げたとの発表があった。

つまり、若い世代が安心して働き、希望通りの結婚や子育てができるような環境の整備を国として進めていくということである。

そのため、本市としても人口減少問題に対して今後何らかの取り組みを行うことは不可欠であり、その一環として本提案書の冒頭に具体的数値目標として掲げた若年女性人口減少率を上方改善する必要があると考える。

本提案書では、本市の若年女性人口減少率を大阪府内で上位22番目（-35%）から上位10番目（-30%）に押し上げるための施策として、本市の魅力を効率的・効果的に発信し、現状では近隣自治体と比べてやや遅れをとっている子育て支援策を強化していくことを提案した。

これらの提案内容が実施されることで、冒頭でも述べた本市の目指す将来像である『子育てしたくなるまち藤井寺』の実現に一步近づくとともに、子育て世代はもちろん地域全体の活力増加につながり、今以上に「キラリと光るまち」へと発展することに寄与できるのではないだろうか。

## おわりに

本チームでは生産年齢人口層の子育て世代をターゲットとして、本市に「住んでみたい」「住み続けたい」「訪れてみたい」と思える魅力的な施策アプローチや魅力発信について提案書を構成した。我が国の世界でも類を見ない急速な少子化・高齢化を鑑みれば、議論の結果、子育て世代がターゲットとなったことは、必然の結果であったのではないだろうか。

つまり、地方自治体が未来を見据えて生き残りを図るためには、年齢構成をブラッシュアップする必要があり、多くの地方自治体の子育て世代をターゲットとしたシティセールスを展開することが求められる。

このような自治体間の競争力が問われる状況の中で、本提案書で提案した施策及び発信方法が、他自治体と差別化を図るための第一歩となり、本市の発展に活かされることを一同心より願い、結びの言葉とする。

### 藤井寺改革・創造チーム (B)

リーダー 健康福祉部生活支援課

主事 日高 隆

副リーダー 市民生活部市民協働・人権推進課

主事 森川 修司

総務部秘書広報課

主事 内田 知里

教育委員会教育部文化財保護課

主事 松田 崇裕

市民生活部商工観光課

主事補 藤原 剛

教育委員会教育部図書館

主事補 米岡 馨



## 検討経過

開催回	開催日	検討内容
第1回	平成26年 7月 3日(水)	メンバー顔合わせ
第2回	平成26年 7月 17日(木)	提案書策定の方向性について検討
第3回	平成26年 7月 25日(金)	提案書策定の方向性について検討
第4回	平成26年 7月 29日(火)	本市の特徴・魅力について分析・検討
第5回	平成26年 8月 8日(金)	提案書作成の方向性について検討
第6回	平成26年 8月 14日(月)	提言書の構成について検討
第7回	平成26年 8月 25日(月)	近隣市との比較データをもとに本市をさらに分析・検討
第8回	平成26年 9月 3日(水)	提案書の方向性・骨子を決定
第9回	平成26年 9月 17日(水)	提案書の内容を校正 提案書の書式・フォーマット等を検討
第10回	平成26年 9月 25日(木)	提案書の内容を校正
第11回	平成26年 10月 9日(木)	提案書の内容を校正
第12回	平成26年 10月 28日(火)	発表資料の校正
第13回	平成26年 11月 6日(木)	発表資料の校正
第14回	平成26年 11月 7日(金)	発表練習
第15回	平成26年 11月 10日(月)	発表リハーサル
第16回	平成26年 11月 14日(金)	発表練習
第17回	平成26年 11月 18日(火)	発表練習
—	平成26年 11月 19日(水)	提案書提出・発表

## 参考資料

### 〈参考 1〉 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推移人口」（平成 25 年度）

結果表1 総人口および指数(平成22年=100とした場合) つづき

自治体	総人口(人)							指数	
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2025年	2040年
27226 藤井寺市	66,165	65,702	64,629	62,967	60,893	58,595	56,215	95.2	85.0

### 〈参考 2〉 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推移人口」（平成 25 年度）

結果表2 年齢(0-14歳、15-64歳、65歳以上、75歳以上)別人口および平成22年(2010年)の指数(平成22年=100とした場合) つづき

自治体	0-14歳人口			15-64歳人口			65歳以上人口			75歳以上人口		
	2010年	2040年	指数	2010年	2040年	指数	2010年	2040年	指数	2010年	2040年	指数
27226 藤井寺市	9,331	5,812	62.3	41,803	30,910	73.9	15,031	19,493	129.7	6,446	10,467	162.4

### 〈参考 3〉 子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査

#### ●子育て支援（全般）について

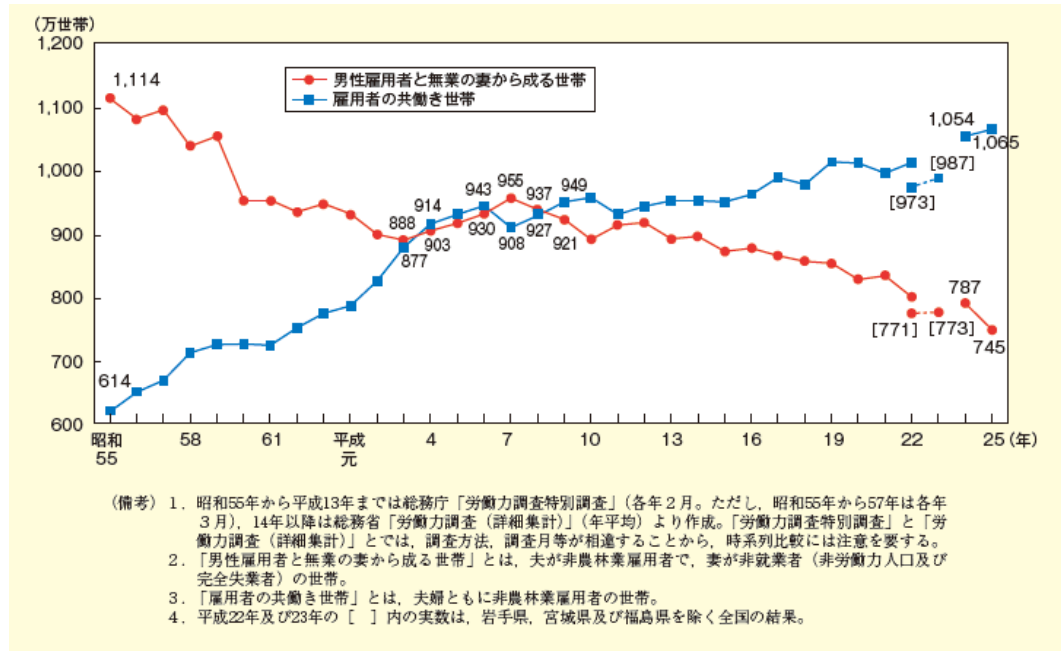
内容	件数
当方の自宅で見守ってもらおう。急な残業時に電話だけで保育園のお迎えをたのめる	6
あたたかく見守ってくれるのが一番よいと思う	4
家の掃除などの家事支援（家事代行）サービスが、無料・安価に利用できれば助かる	4
土、日、祝も預かってくれる人、施設があればよい	3
夏休み、冬休みなど長期のお休みの時に（無料で）預かってもらえる施設がもっと増えればよい	3
安全な環境づくり（登下校の道路）（暗い道に外灯を。溝にフタを。歩道の整備など）	2
私のように祖父母や姉が近所にいると子育てを手伝ってもらったりできるが、そうでない人には子育ての負担がかなり精神的にもかかっている友人などたくさんいるので、預かりサポートの充実が必要	1
仕事をもつ父母がいる子を預けられる場所	1
いつでも預かってもらえる人がいる環境があればよいと思います	1
仕事や用事がなくても子供をみてもらえるところがあるといい	1
一定の時間気軽に預ける事ができるとよいと思う	1
もっと（時間単位で）預けられる場所を増やしてほしい	1
気軽に安価で子供を預かってくれるサービス	1
安心して長時間預けられるところ	1
働きたいと思った時に、すぐ子供を預ける事ができる施設が必要。	1
日常生活のサポートがもっと充実してくれると助かる	1
少し子供と距離をおいて、親が困っている事を聞いてもらって、どう子育てをしていくか、子供は子供で、親は親のサポートがあればうれしいです。事情があって保育所等に預ける事ができない親にサポートしてほしい	1
父母の方針だけでなく、客観的にみてその子に最善と思われる子育ての方法を共に考え見守ってもらえるようなサポートがほしい	1
本当に大変なとき、母親の心のサポートをしてもらえるのが一番の助けになると思います	1
みてもらえる人がいない方のためのサポートがあれば良いと思います	1
もっと密に近い存在になってくれたら良いかと思えます	1
自分の子どもと同じ様に考え、接して欲しい	1
成長を見守ってくれるだけで十分	1
習い事をさせてあげたいが、平日は無理なので（父母共に仕事）困っています。平日、習い事の送り迎えをサポートしてもらえたらと思います	1
小さい子供が2人いる為、買い物の時困難を感じる事が多い。目的の場所へ着いた時に寝ていたり、買い物袋詰めの際に（抱っこひも使用）暴れてスムーズに行えなかったりと大変なことが多い。祖父母が不在の時の自分の受診ができない（歯科など）	1
子育て、子供の教育がしやすい環境が整っていれば、それで良い	1
保育園・幼稚園がある、友人がいる	1
子育てといえはその家庭によってあると思いますが、どのやり方がいいのかなど様々だと思うので、まずは自分たちが真剣に取り組むことが大事だと思います	1
息抜きを時間くれる。	1

### 〈参考 4〉 子ども・子育て支援新制度におけるニーズ調査

#### ●地域での見守り・支え合いについて

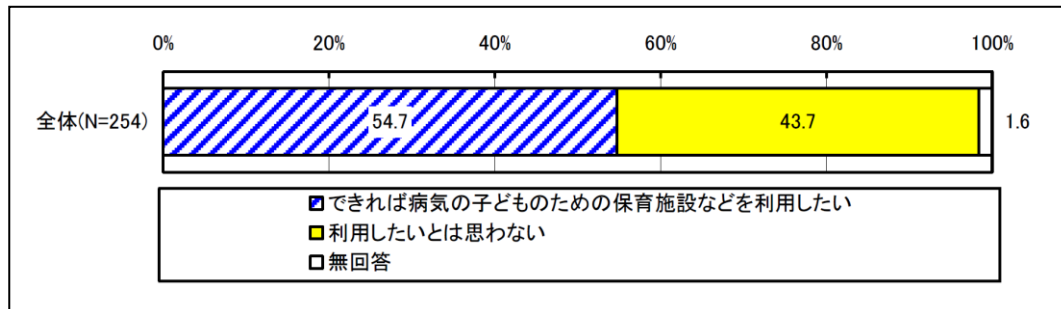
内容	件数
地域にいる子供に大人から温かく声掛けしてもらいたい。やはり親族ではない他人と関わりを持ちとうとする事は勇気がいる。まわりから関わりやすい環境を作っていただけると嬉しい	4
近隣住民の子供への感心（色々な面で目を配っていただく、危険な時・悪いことをしたら叱っていただき、良い時は褒めていただくなど。周囲の方も一緒に子育てしていただきたいです）	3
登下校時や危険な場所（暗くて人気がない所など）の見回りなど	3
安心して遊べたり、見まわりなどあれば、安全だと思う	2
地域のお年寄りなどが、一緒に遊べたりする場などがあると良い	2
近所の人間士や同じ世代の子供を持つ親同士など、人と人とをつなぐことが出来る活動や、サポートしてくれる人がいると助かる	1

<参考5> 共働き等世帯数の推移



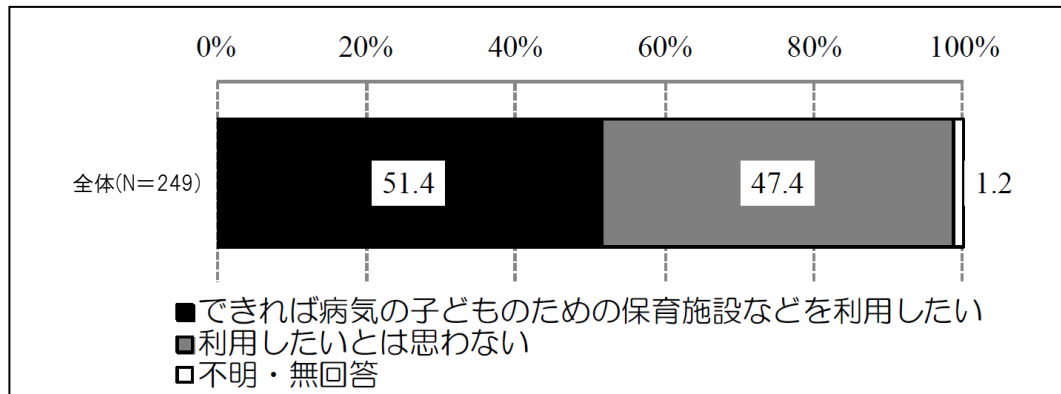
資料：男女共同参画白書（平成26年度）

<参考6> 病気の子どものための保育施設等の利用意向（高石市）



資料：高石市子ども・子育て支援新制度に関するニーズ調査報告書（平成26年度）

<参考7> 病児・病後児保育の利用希望（交野市）



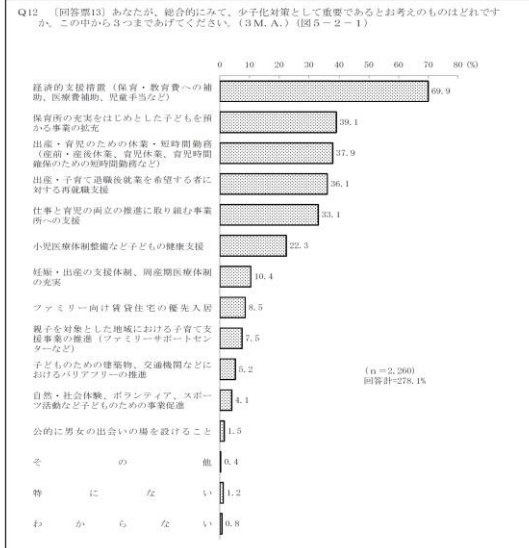
資料：交野市子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査（平成26年度）

〈参考 8〉 内閣府調査・少子化対策に関する子育て女性の意識調査

2 重要な少子化対策

○少子化対策として重要であると考えているものを聞いたところ、

- ・経済的支援措置（保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当など） 69.9%
- ・保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充 39.1%
- ・出産・育児のための休業・短時間勤務（産前・産後休業、育児休業、育児時間確保のための短時間勤務など） 37.9%
- ・出産・子育て退職後就業を希望する者に対する再就職支援 36.1%
- ・仕事と育児の両立の推進に取り組む事業所への支援 33.1%

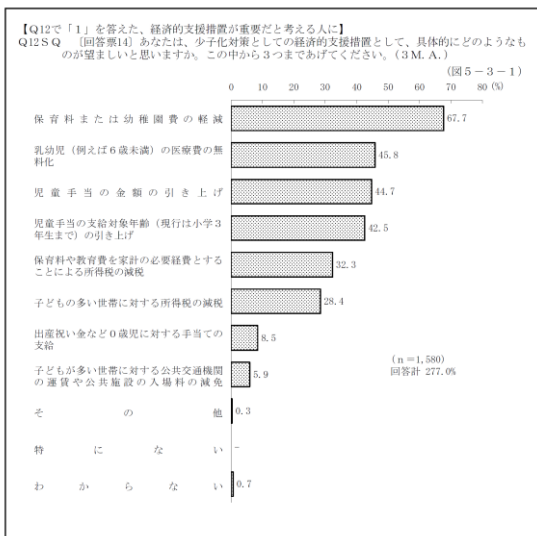


〈参考 9〉 内閣府調査・少子化対策に関する子育て女性の意識調査

3 経済的支援措置

○少子化対策として経済的支援措置が重要であると考えてる人に、具体的に望ましいものを聞いたところ、

- ・保育料または幼稚園費の軽減 67.7%
- ・乳幼児（例えば6歳未満）の医療費の無料化 45.8%
- ・児童手当の金額の引き上げ 44.7%
- ・児童手当の支給対象年齢（現行は小学3年生まで）の引き上げ 42.5%
- ・保育料や教育費を家計の必要経費とすることによる所得税の減税 32.3%



<参考 10>

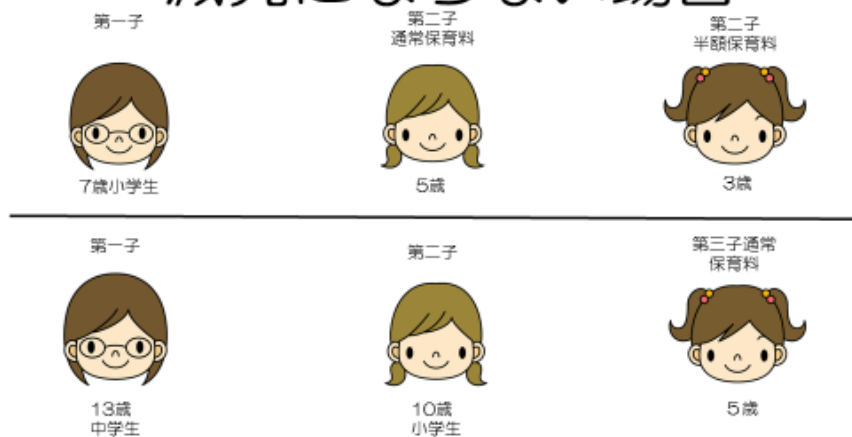
## 現行制度で第三子目保育料が 減免になる場合



すべての児童が対象施設に通所通園

<参考 11>

## 現行制度で第三子目保育料が 減免にならない場合



## 提案制度で第三子目保育料が 減免になる場合



〈参考 13〉 藤井寺おでかけマップ【保育所(園)・幼稚園・公園編】



〈参考 14〉市・関連団体による子育て支援事業

事業名	内容	担当課	平成 25 年度実績		
			実施回数(回)	延参加人数(人)	
なかよし赤ちゃんルーム	6 か月までの子どもとその保護者による交流会・身体測定・育児相談など	健康課	6	198	※1
フレッシュママルーム	産後間もない母親と乳児を対象に交流の場を提供し、地域での孤立化の予防や育児支援を行う	健康課	3	40	
こどもくらぶ	母親同士の交流ゲームと交流会、子育てに関する情報交換、親子遊び、育児相談等を行い、育児支援を図る	健康課	36	650	
はぐくみ学級	子育て中の保護者が、講義、話し合い、参加・体験型学習、社会見学などを通して、子育てのあり方を学習する。	生涯学習課	8	154	
幼児親子教室	2歳前後の幼児と保護者を対象に、全身を使った運動やゲームなどを実施するなど、親子や親同士の交流の機会を提供する。	生涯学習課	5	508	
子育てママのおしゃべりサロン	1歳前後の子どもを持つ保護者が集まり、親同士の交流を図るとともにボランティアによる子育て相談、託児を行う。	生涯学習課	12	153	
放課後子ども教室	放課後に小学校などの施設を活用し、地域ボランティアなどの協力を得て、子どもたちに安全・安心な遊びの場を提供し、地域ぐるみで子どもの成長を見守るも実施	生涯学習課	145	31,320	※1
わんぱく広場	公立保育所の施設を開放して乳幼児親子が気軽遊び集い相談できる場	保育幼稚園課	7 か所	921	
園庭解放	公立保育所の施設を開放して乳幼児親子が気軽遊び集い相談できる場	保育幼稚園課	10 か所	1,501	
きらりキッズ	就園前の子どもとその保護者のための園庭・保育室の解放、親子遊びなど	保育幼稚園課	7 か所	1,959	※1
子育て支援センターつどいの広場	教室：経過観察の必要な子どもに対して、子育ての悩み相談、親子での遊び方の紹介など、遊びの経験を通して親子がともに豊かな力を育てていくお手伝いをする	子育て支援課	—	—	
ファミリーサポートセンター	援助会員と依頼会員からなる会員組織で、地域における子育てに関する相互援助を行う	子育て支援課	—	—	
カンガルー教室	経過観察の必要な子どもに対して、子育ての悩み相談、親子での遊び方の紹介など、遊びの経験を通して親子がともに豊かな力を育てていくお手伝いをする	子育て支援課	—	—	
ブックママ	学校図書館の活性化や市立図書館との連携を目指すとともに、藤井寺市内の児童・生徒の読書に対する関心を高め、情操を育てることを目的として、各学校に地域の図書ボランティアを配置	学校教育課	10 か所	129	※1
子どもの安全見守り隊	各小学校区において、学校と保護者（PTA）、地域が連携する形で体制が整ってきており、見守り活動を展開する中で、登下校時の児童の安全が確保されている。	学校教育課		475	※2
紙芝居と絵本の読み聞かせ	ボランティア団体「藤井寺市朗読の会ひびき」や「おはなしころりん」ボランティアによる親子を対象とした読み聞かせ	図書館	49	471	※1
えほんとおはなしのへや	ボランティア団体「藤井寺市朗読の会ひびき」や「おはなしころりん」ボランティアによる親子を対象とした読み聞かせ	図書館	23	306	※1
ブックトーク	市内小中学校・幼稚園など各種団体におはなしの語り手を派遣し、読書活動を推進する	図書館	17	46 クラス	

※1：平成 24 年度実績 ※2：登録者数

資料：・藤井寺市教育委員会の点検・評価に関する報告書（平成 24 年度・平成 25 年度）

・藤井寺市子ども・子育て支援事業計画（骨子案）



<参考 15> 日本創成会議・人口減少問題検討分科会 全国市町村別「20～39 歳女性」の将来推計人口

市町村コード	都道府県名	市区町村	社人研推計					人口移動が収束しない場合				
			2010年	2010年	2040年	2040年	若年女性人口変化率 (2010→2040)	2010年	2010年	2040年	2040年	若年女性人口変化率 (2010→2040)
			総人口	20-39歳女性	総人口	20-39歳女性		総人口	20-39歳女性	総人口	20-39歳女性	
27102	大阪府	大阪市都島区	102,632	15,421	94,178	9,329	-39.5%	102,632	15,421	98,266	10,523	-31.8%
27103	大阪府	大阪市福島区	67,290	11,841	61,617	6,206	-47.6%	67,290	11,841	62,776	6,837	-42.3%
27104	大阪府	大阪市此花区	65,569	8,395	51,621	4,914	-41.5%	65,569	8,395	49,415	4,925	-41.3%
27106	大阪府	大阪市西区	83,058	17,969	89,170	9,005	-49.9%	83,058	17,969	95,346	10,997	-38.8%
27107	大阪府	大阪市港区	84,947	11,762	67,488	6,983	-40.6%	84,947	11,762	65,617	7,395	-37.1%
27108	大阪府	大阪市大正区	69,510	7,996	47,982	4,112	-48.6%	69,510	7,996	44,840	3,656	-54.3%
27109	大阪府	大阪市天王寺区	69,775	11,222	76,289	7,891	-29.7%	69,775	11,222	82,905	9,290	-17.2%
27111	大阪府	大阪市浪速区	61,745	12,236	55,308	5,074	-58.5%	61,745	12,236	56,643	6,116	-50.0%
27113	大阪府	大阪市西淀川区	97,504	12,892	90,193	9,083	-29.5%	97,504	12,892	92,479	9,537	-26.0%
27114	大阪府	大阪市東淀川区	176,585	27,825	146,342	14,926	-46.4%	176,585	27,825	141,857	15,750	-43.4%
27115	大阪府	大阪市東成区	80,231	11,563	71,741	6,818	-41.0%	80,231	11,563	74,528	7,528	-34.9%
27116	大阪府	大阪市生野区	134,009	16,622	100,909	8,580	-48.4%	134,009	16,622	99,967	8,714	-47.6%
27117	大阪府	大阪市旭区	92,455	11,657	70,940	6,115	-47.5%	92,455	11,657	69,993	5,932	-49.1%
27118	大阪府	大阪市城東区	165,832	23,630	157,752	16,117	-31.8%	165,832	23,630	164,315	17,562	-25.7%
27119	大阪府	大阪市阿倍野区	106,350	14,084	90,525	8,656	-38.5%	106,350	14,084	92,880	9,216	-34.6%
27120	大阪府	大阪市住吉区	155,572	20,543	125,820	11,644	-43.3%	155,572	20,543	123,719	11,687	-43.1%
27121	大阪府	大阪市東住吉区	130,724	16,326	100,170	9,418	-42.3%	130,724	16,326	98,322	9,541	-41.6%
27122	大阪府	大阪市西成区	121,972	10,628	66,381	5,022	-52.7%	121,972	10,628	62,616	4,750	-55.3%
27123	大阪府	大阪市淀川区	172,078	27,160	156,131	15,342	-43.5%	172,078	27,160	159,108	17,229	-36.6%
27124	大阪府	大阪市鶴見区	111,182	16,098	112,773	12,975	-19.4%	111,182	16,098	113,483	13,712	-14.8%
27125	大阪府	大阪市住之江区	127,210	16,002	95,093	7,948	-50.3%	127,210	16,002	92,019	7,420	-53.6%
27126	大阪府	大阪市平野区	200,005	24,819	166,910	16,456	-33.7%	200,005	24,819	165,729	16,496	-33.5%
27127	大阪府	大阪市北区	110,392	20,426	121,925	12,549	-38.6%	110,392	20,426	136,564	16,960	-17.0%
27128	大阪府	大阪市中央区	78,687	16,567	74,456	6,295	-62.0%	78,687	16,567	78,699	7,688	-53.6%
27140	大阪府	堺市	841,966	108,046	738,923	75,191	-30.4%	841,966	108,046	741,642	77,910	-27.9%
27202	大阪府	岸和田市	199,234	24,786	163,800	16,678	-32.7%	199,234	24,786	158,312	16,918	-33.8%
27203	大阪府	豊中市	389,341	51,179	335,026	34,772	-32.1%	389,341	51,179	331,967	36,678	-28.3%
27204	大阪府	池田市	104,229	13,362	84,125	8,051	-39.7%	104,229	13,362	80,400	7,870	-41.1%
27205	大阪府	吹田市	355,798	48,592	309,999	31,535	-35.1%	355,798	48,592	302,692	32,382	-33.4%
27206	大阪府	泉大津市	77,548	10,369	64,889	6,754	-34.9%	77,548	10,369	61,658	6,620	-36.2%
27207	大阪府	高槻市	357,359	46,877	317,356	32,190	-31.3%	357,359	46,877	320,434	33,850	-27.8%
27208	大阪府	貝塚市	90,519	11,125	77,368	8,043	-27.7%	90,519	11,125	75,543	7,874	-29.2%
27209	大阪府	守口市	146,697	18,055	114,981	10,883	-39.7%	146,697	18,055	112,837	11,241	-37.7%
27210	大阪府	枚方市	407,978	52,252	343,339	30,434	-41.8%	407,978	52,252	338,612	28,294	-45.9%
27211	大阪府	茨木市	274,822	38,680	256,399	26,861	-30.6%	274,822	38,680	257,142	27,946	-27.8%
27212	大阪府	八尾市	271,460	32,794	214,972	20,273	-38.2%	271,460	32,794	210,162	20,083	-38.8%
27213	大阪府	泉佐野市	100,801	13,298	89,989	9,143	-31.2%	100,801	13,298	91,264	9,649	-27.4%
27214	大阪府	富田林市	119,576	14,394	85,885	7,180	-50.1%	119,576	14,394	79,797	6,224	-56.8%
27215	大阪府	寝屋川市	238,204	29,085	178,361	15,294	-47.4%	238,204	29,085	171,023	14,688	-50.9%
27216	大阪府	河内長野市	112,490	12,898	77,474	6,103	-52.7%	112,490	12,898	72,246	5,185	-59.8%
27217	大阪府	松原市	124,594	14,612	94,521	8,865	-39.3%	124,594	14,612	89,925	8,548	-41.5%
27218	大阪府	大東市	127,534	15,983	105,428	10,061	-37.1%	127,534	15,983	102,036	9,781	-38.8%
27219	大阪府	和泉市	184,988	23,505	177,156	17,634	-25.0%	184,988	23,505	180,680	17,948	-23.6%
27220	大阪府	箕面市	129,895	17,179	116,913	10,756	-37.4%	129,895	17,179	116,353	10,276	-40.2%
27221	大阪府	柏原市	74,773	9,625	55,381	5,038	-47.7%	74,773	9,625	51,362	4,486	-53.4%
27222	大阪府	羽曳野市	117,681	14,381	94,368	8,952	-37.8%	117,681	14,381	91,883	8,577	-40.4%
27223	大阪府	門真市	130,282	16,327	100,592	9,547	-41.5%	130,282	16,327	97,051	9,584	-41.3%
27224	大阪府	摂津市	83,720	11,313	68,237	6,925	-38.8%	83,720	11,313	63,840	6,749	-40.3%
27225	大阪府	高石市	59,572	7,328	46,685	4,733	-35.4%	59,572	7,328	43,829	4,517	-38.4%
27226	大阪府	藤井寺市	66,165	8,519	56,215	5,539	-35.0%	66,165	8,519	55,884	5,561	-34.7%
27227	大阪府	東大阪市	509,533	62,004	389,030	33,583	-45.8%	509,533	62,004	376,272	31,281	-49.5%
27228	大阪府	泉南市	64,403	7,782	54,349	5,579	-28.3%	64,403	7,782	52,824	5,334	-31.5%
27229	大阪府	四條畷市	57,554	7,252	48,314	4,894	-32.5%	57,554	7,252	47,110	4,821	-33.5%
27230	大阪府	交野市	77,686	9,415	64,642	6,247	-33.6%	77,686	9,415	62,718	5,963	-36.7%
27231	大阪府	大阪狭山市	58,227	7,548	48,741	4,653	-38.4%	58,227	7,548	47,362	4,385	-41.9%
27232	大阪府	阪南市	56,646	6,669	42,953	3,820	-42.7%	56,646	6,669	40,734	3,355	-49.7%
27301	大阪府	島本町	28,935	3,579	24,967	2,335	-34.8%	28,935	3,579	24,033	2,171	-39.3%
27321	大阪府	豊能町	21,989	2,171	12,279	634	-70.8%	21,989	2,171	11,205	439	-79.8%
27322	大阪府	能勢町	11,650	1,026	6,342	302	-70.6%	11,650	1,026	5,740	191	-81.4%
27341	大阪府	忠岡町	18,149	2,244	16,392	1,697	-24.4%	18,149	2,244	16,516	1,731	-22.9%
27361	大阪府	熊取町	45,069	5,589	39,382	3,908	-30.1%	45,069	5,589	38,538	3,681	-34.1%
27362	大阪府	田尻町	8,085	1,108	8,361	1,056	-4.7%	8,085	1,108	8,531	1,150	3.8%
27366	大阪府	岬町	17,504	1,780	10,872	880	-50.6%	17,504	1,780	10,190	770	-56.8%
27381	大阪府	太子町	14,220	1,586	11,020	989	-37.6%	14,220	1,586	10,421	871	-45.1%
27382	大阪府	河南町	17,040	1,938	12,467	974	-49.7%	17,040	1,938	11,851	812	-58.1%
27383	大阪府	千早赤阪村	6,015	585	3,319	213	-63.6%	6,015	585	3,002	155	-73.5%